

登録コード	E7120300	開講年度	2026		
授業科目	授業開発論演習				担当教員 安達 仁美
英文授業名	Seminar in Development of Instruction				副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限
講義室	教育N319	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	各自の興味関心の中からプロジェクトテーマを設定し、ディスカッションを行う。また、実際の授業記録に基づきながら授業分析を行いより実践的に授業分析の意義を捉える。				
(5)授業計画	第1回：イントロダクション 第2回：授業分析構想発表会 第3回：授業分析の事例から学ぶ 第4回：文献レビューとディスカッション（幼小接続） 第5回：文献レビューとディスカッション（生活科） 第6回：文献レビューとディスカッション（総合的な学習の時間） 第7回：文献レビューとディスカッション（キャリア教育） 第8回：授業分析中間発表会 第9回：自由に学ぶ子どもの姿から考える（幼稚園訪問） 第10回：自由に学ぶ子どもの姿から考える（小中学校訪問） 第11回：主体的な学びと学校の在り方について 第12回：文献レビューとディスカッション（主体的な学び） 第13回：文献レビューとディスカッション（保護者や地域との連携） 第14回：授業分析発表会・授業アンケート *受講者の人数とメンバーの関心を考慮して授業内容をアレンジする。				
(6)成績評価の方法	授業のねらいの到達度を測るため以下を総合して判定する ・ゼミ内での発表とディスカッション（60%） ・提出レポート（40%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可				
(7)成績評価の基準	・卓越している...授業分析の諸理論と実際について関心を深め、文献レビューや授業分析を通して納得できる根拠を説明しながら自分の見解を示し、積極的に意見交換をしている。 ・かなり上である...授業分析の諸理論と実際について関心を深め、文献レビューや授業分析を通して根拠を説明しながら自分の見解を示している。 ・やや上にある...授業分析の諸理論と実際について関心を持ち、文献レビューや授業分析を通して自分の見解を示している。 ・水準にある...授業分析の諸理論と実際について関心を持ち、文献レビューや授業分析に取り組んでいる。				
(8)事前事後学習の内容	授業前には、前時の授業内で示された課題に取り組む。授業後には、授業中に学んだことと感想についてまとめ、グループLINEのノートに提出すること。				
(9)履修上の注意	・ゼミは、発表やディスカッションなど、自分の考えを述べる場である。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞみ、積極的に意見交流してほしい。				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワー：メール予約で随時 メールアドレス：adachi@shinshu-u.ac.jp				
【教科書】	未定				
【参考文献】	河野 義章『授業研究入門—わかる授業の科学的探究』図書文化社（2520円） 日本教育方法学会『日本の授業研究 下巻 授業研究の方法と形態』学文社（2415円）				